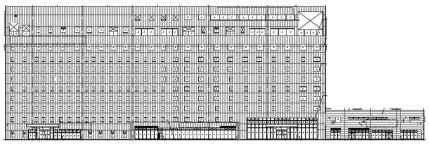
CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版　使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)福岡ｱｲﾗﾝﾄﾞｼﾃｨ･ｾﾝﾀｰ築開発	階数	地上１１階
建設地	福岡県福岡市東区香椎照葉6丁目2	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	9,250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集会所,ホテル,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月　予定	評価の実施日	2018年10月12日
敷地面積	49,588 ㎡	作成者	上村　絢茄
建築面積	18,462 ㎡	確認日	2018年10月16日
延床面積	45,175 ㎡	確認者	伊東　正太朗

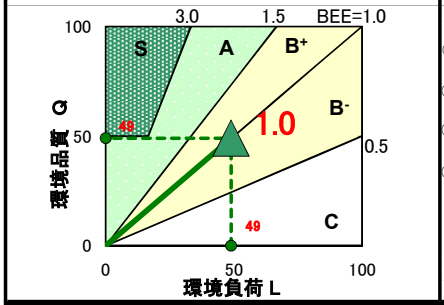
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

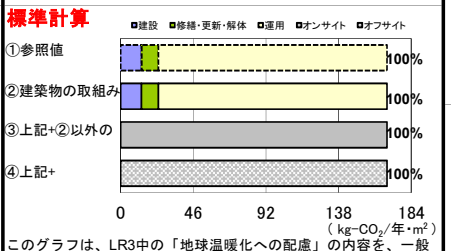
BEE =1.0 ★★★☆☆

S: ★★★★★　A: ★★★★　B⁺: ★★★　B⁻: ★★　C: ★



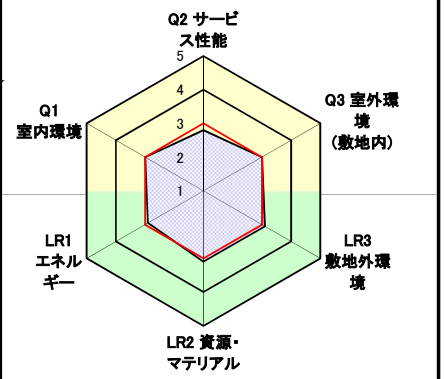
2-2 ライフサイクルCO$_2$(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

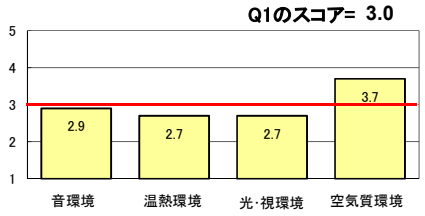
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



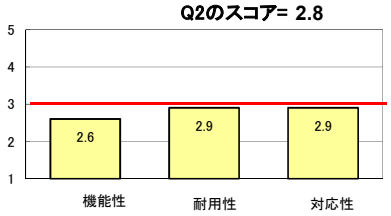
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.9

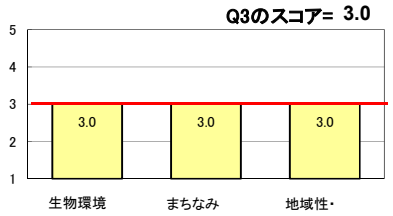
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.0



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 2.8

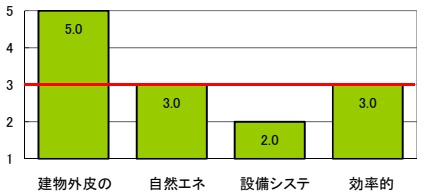


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 3.0

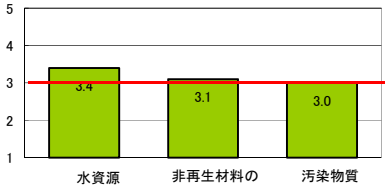


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.0

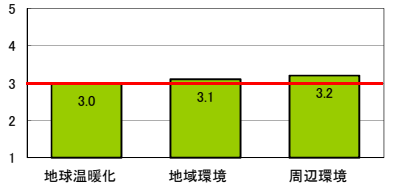
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 2.9



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.1



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.1



3 設計上の配慮事項

総合	その他
緑地を多く設けることで景観にも配慮し、快適性に重視した設計とした。	0

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
居室の窓をできる限り大きくし、通風・採光の確保に努め、快適な住空間を目標とした。居室のｻｯｼは断熱性の向上を図った。使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。	将来の更新を想定し、大半の室でﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽを採用。階高を十分に確保し、設備機器等の更新に備えた。	外壁材の彩度を落したﾃﾞｻﾞｲﾝとし、周囲への太陽光の反射やｸﾞﾚｱの軽減を図る。

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
パッケージ型空気調和機はトップランナー機器を採用した。全熱交換器を採用した。	限りある資源を有効に利用する。ﾊﾛﾝ消化剤を使用しない。	隣地の計画に配慮した位置に広場を設け、利用者が訪れやすいよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO$_2$」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO$_2$排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される